

令和3年度第1回市川市福祉有償運送運営協議会（議事録）

1. 開催日時：令和3年5月28日（金）19時00分～20時00分

2. 開催場所：市川市役所本庁舎 5階 第1委員会室

3. 出席者

【委員】

会長 中根委員

副会長 池田委員

委員 海野委員、大塚委員、佐藤委員、藤井委員、武藤委員
丸島委員、寺島委員、福地委員、磯部委員

【事務局】

小森（福祉政策課主幹）ほか

4. 議事

(1) 正副会長の選任について

(2) 団体から提出された移送サービス状況について
(令和2年10月～令和3年3月)

(3) その他

《配布資料》

・会議次第

・資料1 第9期市川市福祉有償運送運営協議会委員名簿

・資料2 移送サービスの状況（令和2年10月～令和3年3月）

・当日配布資料1 バス・タクシー利用者へのお願いおよび、自治体へのワクチン接種時バス・タクシーの活用検討依頼について

・当日配布資料2 自家用有償旅客運送に係る法令改正等について

・当日配布資料3 特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク第15回通常総会記念行事のご案内

項 目	内 容
	<p>(会議に先立ち、福祉部長より各委員へ委嘱辞令の交付を行った)</p> <p style="text-align: center;">(1) 正副会長の選任について</p> <p>会長に中根委員、副会長に池田委員が選任された。</p> <p style="text-align: center;">(2) 団体から提出された移送サービスの状況について</p> <p>中根会長 それでは「議題(2)団体から提出された移送サービスの状況について(令和2年10月から令和3年3月)」です。事務局より説明をお願いします。</p> <p>事務局 (資料2に基づき説明)</p> <p>中根会長 ただいま説明がありましたが、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。</p> <p>中根会長 この運行件数の減少というのはかなり目に見えてわかります。同じように、バスやタクシー業界もかなり厳しいのではないのかと思っております。委員の皆様からこの辺りについて、少しコメント等があればお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>武藤委員 コロナの影響はものすごくありました。1年を振り返ると、昨年4、5月に第1波があり、史上初の緊急事態宣言が1都3県に発令されて大打撃がありました。5月25日に緊急事態宣言が終了すると徐々に規制が緩和され、6月以降に少し持ち直しましたが、千葉県内全域のタクシー業界の状況を見ると4、5月は対前年度売上げの3分の1、6月以降は6、7割程度となりました。第3波となった冬は、2回目の緊急事態宣言発令により半分以下に落ちました。昨年度4～3月の県内タクシー売上げも対前年度比6割、つまり4割減という厳しさです。</p> <p> 今もまん延防止等重点措置の適用により、この京葉交通圏域も最近も措置の期間が延期されたという状況です。県内のタクシー事業者の中でも廃業あるいはM&Aせざるを得ない、つまり辞めてしまう事業者が1年間で10数件出てきています。</p> <p> まだコロナが終わったわけではないので、今後も事業を撤退せざるを得ないという状況に追い込まれてしまうのかなと思いますし、そうになると、公共交通機関であるタクシーが、下手をするとその地域で無くなってしまいます。市民の方に対する場の提供も逼迫しており、非常に厳しいところです。</p>

中根会長	<p>現状をお伝えいただき本当にありがとうございます。 介護タクシーについてはいかがでしょうか。大塚委員お願いします。</p>
大塚委員	<p>介護タクシーについても、移動を制限する状態もあったので8割位の状況になっています。資料2の移送サービス状況報告書を見ると、やはり施設の送迎で利用している方々が自粛してマイナスになっているのと、ただ、介護タクシーを行っているSSU市川がプラスになっているということを見ると、やはり移動困難者の方はある程度移動を必要としている状況はあって、弊社でも徐々に依頼は増加しています。ワクチン接種も始まり、人員が急に必要になっている状況です。</p>
中根会長	<p>ありがとうございます。交通業界がかなり厳しい状態になっているのは間違いないと思います。 他に、ご意見、ご質問はございますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（ご意見、ご質問なし）</p>
中根会長	<p>それでは次の議題にまいります。</p> <p style="text-align: center;">（3）その他</p>
中根会長	<p>議題（3）「その他」について、今回は佐藤委員より、当日配布資料1「バス・タクシーの活用についての検討および周知について」ご提供いただいておりますので、ご説明いただきたいと思います。 どうぞよろしく願いいたします。</p>
佐藤委員	<p>武藤委員、大塚委員からお話があったとおり、コロナ禍における移動需要の低減を受け、バス・タクシーの経営勘定は非常に厳しさを増しています。国や自治体でも補助等の支援を行っており、市川市からも支援をいただいています。ただ、支援もありますが、住民の方が利用することで、初めて公共交通が成り立ちます。当日配布資料1の1ページ目の通り、地域の公共交通を社会全体で支えていくということが非常に大事です。バス・タクシー共に消毒や換気、乗務員との仕切りの設置などの万全な感染防止対策をしているので、安心して利用してほしいです。 マスクの着用等や感染対策をしたうえでバス・タクシーを利用していただければと思います。 ページをめくっていただき、ワクチン接種が今後進んでいくと見込まれますが、この際にバス・タクシーを活用していただきたいと思います。2ページ目で、ワクチン会場までの移動手段としてバス・タクシーを活用していただく際の</p>

佐藤委員	<p>活用事例等がありまして、また、運輸局から各自治体にメールで情報提供させていただいてますが、こういった形でバス・タクシーで接種会場に行けるような何らかの手立てを考えていただければ、利用者は安心して会場に行けますし、バス・タクシーの支援にも繋がるかと思っておりますので、今後検討していただければと思います。また、事業者の方には関係がないかもしれませんが、貸切バスを利用した移動型のワクチン接種会場を活用できるということで、バス事業者での取り組みがあるので、活用していただければと思います。</p> <p>ワクチン接種者輸送を検討する中で自治体でお困りのことがありましたら、運輸局輸送担当にご相談いただければと思います。今後、公共交通が無くなっていくと困りますので、無くならないように利用支援をお願いいたします。</p>
中根会長	<p>本協議会を含め、移動の大事な問題を抱えていると思います。委員の皆様のお話のとおり、移動手段がなければ今後もっと大変なことになります。</p> <p>介護予防ということで外出の機会として交流の場をつくってきたのがコロナ前でしたが、今はそういうものが全て遮断されている中で、暮らしの足を支える公共交通機関が困難な状況にあります。コロナ終息後に公共交通機関がなくなったら、住民は外にどうやって出るのだという問題もあります。市としてはどのように認識し、取組等を考えていますか。</p>
磯部委員	<p>ワクチン接種への移動手段については、運輸局からいただいている情報は保健部にも共有しており、今後、塩浜体育館やスポーツセンターなどの接種会場に向けての導入を検討したいという話を聞いています。今後、バス事業者との協議が始まるのではないかと思います。</p>
中根会長	<p>ありがとうございます。この点についてご意見、ご質問はございますでしょうか。利用者の立場として、海野委員、いかがですか。</p>
海野委員	<p>東京でワクチンを接種する高齢者が道に迷っていたというニュースを見ました。接種の予約をして下見する人もいましたが、自分で下見できる人は良いと思いますが、ヘルパーをお願いしなければいけない人達は二重の支払いになってしまいます。分かりやすい所にバスがあつて、そのままワクチン会場に連れて行ってくれるというのは本当に大事だろうと思います。佐藤委員の話を聞いて、ぜひ取り組みをしてほしいと思いました。コロナが終息したら安心できると思いますが、今度は生活困難がまた出てきたとなれば本末転倒ですし、生活の活動が維持できるよう</p>

海野委員	<p>に市としても考えてほしいので、バス・タクシーの活用をお願いしたいと思います。</p> <p>足腰の弱った方がどうワクチンを受けにいけるのかとヘルパーの方も心配しております。ヘルパーの数も本当に少ないので、ついていけるヘルパーも不足するとなると、バスを利用して一人で行けるなら行ける、という形をとれば良いというよりも、そのような手段と交通路が必要だと思えます。</p>
中根会長	<p>ありがとうございます。ワクチン接種についてはとても大事だと思います。移動交通の部分に重点をおきながら考える必要があります。</p> <p>他にご意見、ご質問はございますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（ご意見、ご質問なし）</p>
中根会長	<p>それでは、資料1の説明は以上とさせていただきます。</p>
中根会長	<p>それでは、次にまいります。</p> <p>当日配布資料2「自家用有償旅客運送に係る法令改正等について」について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>令和2年11月に自家用有償旅客運送に係る法令が改正されて半年が経過しようとしております。これらの改正により、申請手続きや利用区分等の細かい部分に変更点が生じておりますので、本協議会において情報共有をさせていただきたいと思えます。</p> <p>また、この件に関し、事務局から福祉有償運送実施団体に通知を行いましたことをご報告申し上げます。</p> <p>今後、市川市内でもワクチン接種が開始されることに伴い、接種の際に福祉有償運送を利用なさる方がいると想定されますことから、市内の福祉有償運送実施団体の皆様に、事務局より4月末に通知文を发出させていただきました。通知文の趣旨といたしましては、11月の道路運送法施行規則の一部改正により運送対象者の類型が変更になりましたので、ワクチン接種のために運送を利用なさる方々について、取扱いについて遺漏のないようにと再度の周知を図ったものでございます。</p>
中根会長	<p>ありがとうございます。改正について団体の方と協議を図ったということでした。佐藤委員から、補足できることがありましたらお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
佐藤委員	<p>福祉有償運送の旅客の区分の明確化について、今までは『イ・ロ・ハ』で分類されていましたが、明確化されていなかったところについては規</p>

佐藤委員	<p>則を改正して、明確化を図りました。二の部分、『ロ・ハ・ヘ』に明確化され、精神、知的、チェックリスト該当者ということで類型が増えております。また、重複して障がいをお持ちの方については、申請の点について言うと、16ページの様式に『ホ・ヘ・ト』が追加されています。障がい重複されている方は2つマルをつけていただいても構わないという風にお取り扱いいただければと思います。実際に障がいをお持ちの方がマルを付けてもらい、そこに該当しない、新たに『イ・ロ・ハ・ニ・ホ・ヘ・ト』に該当しない方が出た場合、今までは軽微な変更の届出で済んでいましたが、これからは変更の登録申請が必要になるので、こちらが変更点でございます。説明は以上でございます。</p>
中根会長	<p>ありがとうございます。委員の皆様からご意見、ご質問はございますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（ご意見、ご質問なし）</p>
中根会長	<p>藤井委員に公共交通機関の現状とワクチン接種を踏まえ、今後について情報提供がございましたらお願いします。</p> <p>法改正によって区分変更があり、その他、更新時の書類の簡素化などの軽微な変更ありました。活動している団体にとって少し煩雑になる場合もあるかなと思います。高齢であっても障がい手帳をお持ちの方もいますし、身体障がいと精神障がいの両方をお持ちの方もいらっしゃいます。そういった方について、1人でも複数にマルを付けて出すということ団体に共有してほしいと思います。</p> <p>公共交通機関の現状やワクチン接種を踏まえた移動機会の減少について、現状を踏まえて、変化していく点や気を付けなければいい点などがありましたら、他の地域でのことも含めて情報提供いただければと思いますが、藤井委員よりいかがでしょうか。</p>
藤井委員	<p>今週、先週と、他の自治体での公共交通会議等があり、やはりそこでコロナ関連での移送をどうするか話題になりました。東金市では、デマンド型交通を全エリアで利用可能な仕組みになっています。本来は、公共交通のバス利用者とマッチングするから良くないと話をしているのですが、料金等の差からなんとか出来ています。下地がある公共交通というところで、日曜日にデマンド型交通を活用するところも出てきています。待機スペースにも活用できないかということで、今はスペースを活用するとき一般の方と分けて使用していますが、施設が使用できない際の代替方法としての検討事項もあります。</p> <p>先日、市原市で2団体の福祉有償運送事業の更新があり、そこで、どのようにコロナ禍の事業を継続していくかという話がありました。介護</p>

藤井委員	<p>関係ということで、数人の認知症の方にとってはベーシックな利用になっているので、運行の減少は少ないものの、事業継続にあたっての問題点が出てきたので、市川市としてどうかと思いました。</p> <p>1つ目の団体は、運転者の総数が30名以上いる中で、74歳以上の運転者が4名という団体です。規約としては75歳までというルールを作っていますので、時期が来たら辞める形式です。ハローワークに求人を出しても、なかなか福祉人材が集まらないという状況です。ニーズとしては福祉有償運送は重要になっていきますし、担当のドライバーも団体も支援を継続したいという思いを持って取り組んではいますが、なかなか人材確保が上手くできていない状況が見え隠れしています。</p> <p>2つ目の団体は、昭和63年位の生まれのドライバーが5、6人います。話を聞くと、団体の家族のネットワークにより、初めはアルバイトベースでやっていたのを施設で育てるということで様々な資格を随時取ってもらい、そういう活動を継続する中で、将来的に活動していかれるようにしていました。今、30才代の年齢になり、自分達が介護に接する機会が非常に多くなり、介護への思いも強くなってきて、誰一人欠けることなく、福祉有償運送も含めて福祉活動に従事しているとのこと。そういった中では、若い人のネットワークをうまく活かすこと、そして育てることが大事かと思います。目の前の問題をどうにかしないと、と追われることはありますが、育てる枠組みを行政としても支援出来ると良いのかなと思います。継続的な動きにつながるのではという印象があります。</p> <p>市川市で運転されている方の状況は資料2の移送サービス状況例月報告書では分かりませんが、いずれにしろ事業を維持できるような仕組みを、運営管理というより土台を検討していき、団体任せになると対応できないこともあると思いますので、事務局も寄り添う姿勢を作り上げてほしいです。</p>
中根会長	<p>ありがとうございます。藤井委員の意見、全く仰るとおりだと思います。私の所属する全国移動ネットで、今後運送を継続できるかを団体に向けて質問したら、一番キーになっているのは、お金や車両ではなく運転手でした。個々の確保できる見込みがあれば長く事業を出来ます。人に対しての見込みが難しいと、事業の継続も難しいです。全国移動ネットの会員団体の中でも、ほとんどの団体で運転者が高齢化しており、利用者はいるけれども事業の維持が難しく、運転手の高齢によって団体の維持が難しく解散するという団体もありますので、担い手という問題はますます大きくなっています。</p>
中根会長	<p>それでは最後に、「当日配布資料3 特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク第15回通常総会記念行事のご案内」について、ご</p>

中根会長	説明をさせていただきます。
中根会長	<p>6月に全国移動ネットで総会が開かれるのですが、そのあとに記念行事としてこのようなトークセッションを行います。</p> <p>「地域交通関連の法制度改正を、くらしの足の確保に活かすには」ということで、国土交通省からは総合政策局交通政策課と自動車局旅客課の2課、そして、厚生労働省からは介護の観点からご発言いただきます。特に厚生労働省は今なかなかできない外出、特に介護予防の観点から、“移動”ということを中心に考えており、両省の担当者の方をお呼びしてトークセッションをしていこうと企画しております。コロナ禍というご時世ですのでオンラインで見ることができますので、ご関心ある方は見ていただけたらと思います。</p> <p>また、神奈川県と千葉県の地域から、実際の福祉有償運送の団体の方からご発言いただく予定です。有識のある方として、東京大学教授をされていた鎌田実先生にも来ていただき、色々総括していただく予定です。</p> <p>コロナ禍ということで大変な状況ですが、大変だと言いつけてもその先が無いので、この次にどういった展開をしていくかということを見交換していこうと思っております。</p>
中根会長	それでは、これで終了としたいと思いますが、他に何かございますか。
池田副会長	<p>先ほどの法改正に関わることになりますが、道路運送法施行規則の改正についてご報告いたします。</p> <p>令和3年6月の市議会で市川市福祉有償運送運営協議会条例の一部改正を提案、提出させていただきます。改正内容は、福祉有償運送に規定する奨励の長文が第49条第3号が第49条第2号に改められたので、引用条文を整理するという内容でございます。以上でございます。</p>
中根会長	ありがとうございます。他に何かございますか。
海野委員	<p>ワクチン接種で医療従事者の方が優先されますが、その中にヘルパーの方、特に訪問のことを担当される方も医療従事者の方に位置付けることで、早期にワクチンを摂取してほしいと思います。</p> <p>ヘルパーは利用者の方のお宅に訪問することで、人、特に弱い人に会います。自分が感染して、利用者の方にうつしたらという気持ちでいっぱいですし、普段のストレスもすごいものだと思います。ましてや人員不足ということもあるので、見ていて心が苦しくなります。ヘルパーの位置付けはもっとしっかりしてほしいですし、各自治体で接種方法が違</p>

海野委員	<p>うのであれば、市川市はヘルパーも医療従事者に含めますとはっきり言ってくれないとヘルパーも増えないのではないのでしょうか。</p> <p>今は、コロナ禍でヘルパー自身がプライベートの生活もできなくなっています。例えば筋ジストロフィーの方でしたら、自分たちでネットワークを広げることで、働いている方に来てもらっているようでしたが、その方の1人がコンサートに行ったそうという話を随分前に伺いました。チームリーダーの方が注意すると、その方ともう1人の方が辞めてしまい、ギリギリの状況下で2人も辞めてしまったということで、筋ジストロフィーの方は本当に大変だったそうです。このようにギリギリの中で、市川市がヘルパーの位置付けを見直すことで、資格を持っていながらヘルパーとして働いていないたくさんの方達にとって、もう一度ヘルパーとして働こうかなという気持ちになってもらえたら良いと思います。</p> <p>今はどうしてもヘルパーの位置付けがすごく低い様感じており、その位置付けは違うだろうと思っています。ご老人は動かないわけですから、来る方からうつるといのが一番だと思いますし、ヘルパーのワクチン接種についてはぜひ考えてほしいです。</p>
池田委員	<p>ヘルパーの方の接種は利用者の安全にもつながると思います。</p> <p>海野委員にご指摘いただいた点や、バス・タクシーの利用については事務局の方でも整理させていただきます。こちらについては、所管が保健部でございますので、情報を伝えて適正な運用をしていきたいと思えます。</p>
中根会長	<p>議事については、こちらで終了いたします。</p> <p>最後に、事務局から今後の開催予定についてお願いいたします。</p>
事務局	<p>今年度の協議会開催についてご案内させていただきます。</p> <p>本協議会は年2回の開催を予定しておりますが、今年度は、福祉有償運送実施団体の更新登録の協議予定がないことや、新型コロナウイルスの感染状況の予測が困難であることから、開催については状況を鑑み判断してまいりたいと思えますので、何卒ご理解いただけますようお願いいたします。</p>
中根会長	<p>それでは、次回開催については私と事務局とで相談させていただいて、皆様にお知らせをさせていただきたいと思えますが、よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(異議なし)</p>

中根会長	それでは、令和3年度第1回市川市福祉有償運送運営協議会を終了いたします。 <p style="text-align: right;">以上</p>
------	--

市川市福祉有償運送運営協議会
会長 中根 裕